

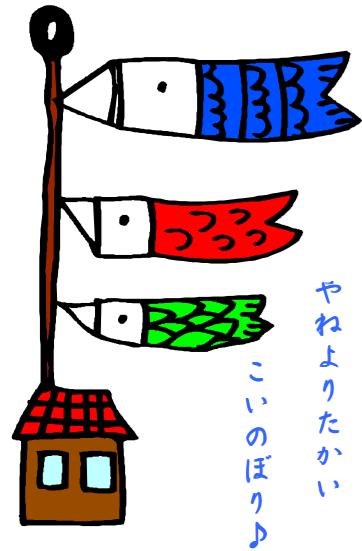
OH-YABU NEWS LETTER

VOL.6 発行人：株式会社大藪組
2013.4月

サイクリングに行こう！



ピクニックに行こう！



かぜにふかれて
やねよりたかい
こいのぼり♪

こんにちは！大藪組です。爽やかな空気とともに、平成25年新年度が始まりました。街にはピカピカの新1年生。大藪組にもピカピカの新卒フレッシュマンがふたり。その姿を見て、回顧し初心を思い出す諸先輩方の姿も見受けられました。社内にも春のいい風吹いていますね。

さて、年度末は工事が次々に引渡しとなり、現場技術スタッフも本社へ戻ってまいりました。それに伴い新しい道が開通したり施設がオープンしたりと、我々市民の生活にも変化が生まれ、便利さ快適さがアップ！広い道、きれいな施設、整うことの有難さ。我々の仕事が、地域の方々の安心・安全・快適につながっているのだと、改めて認識し、自負の想いを強くなりました。
新しい道路大好き！すべすべと滑らかな舗装が走って静かで心地いい。季節もいいし、思わず窓を開け、ビューンとアクセルを踏み込みたくなりますね☆

今年の桜は、風邪をひいている間に早々と散り去ってしまい、日々車窓から眺めるだけの道中お花見のみでした。桜とバトンタッチに、空に泳ぐこいのぼりを楽しませてもらっています。さあ、5月になると半袖気分。あつという間にクールビズ体制の大藪組になりますよ！

株式会社大藪組 ニュースレター係

～工事の現場から～ file#5

1級土木施工管理技士

●現場代理人 末吉 達博 さん
●監理技術者

- 工事名 矢部川(220号)河川災害復旧工事(ウエディングホール矢部川城跡)
- 工期 平成24年12月1日～平成25年
- 工事場所 八女市津江 8月20日
- 発注者 福岡県八女県土整備事務所

昨年7月の豪雨災害。八女～筑後を流れる一級河川の矢部川流域では、大きな被害を被った場所がいくつもある中で、ようやく本格的な復旧工事が、あちこちで着手され始めました。今回工事の取材に赴いたのは、ウエディングホール矢部川城跡さん拳式チャペル跡地。災害による河岸崩落が全体にわたり、現在は建物を解体され一時休業されています。今回の復旧工事後にまた営業再開とのこと。工事としては、この崩落した河岸を掘削・切土し、間知ブロックを2段の法面で積む距離約1,000m。現在出来高約40%強。梅雨が来る前に土止めまでは終わる工程で進んでおり、毎日重機が12～13台、人員も20名以上が入る、ハイピッチな現場運営が求められていました。取材日この晴れたこの日も、重機の音が休みなく轟き、とても躍動感のある現場でした。

担当者には末吉氏。筑後市古島小学校付近での護岸工事以来、約20年ぶりの護岸工事。技術的に変化はないとはいえ、原油や材料の高騰、天候の影響をふまえた施工管理の難しさ等を課題にあげられました。

これからの地域の安全のため、最後まで粘り強く業務遂行、お願いします！

OH-YABU人 すくすくと育つ可愛いお孫さんの話を、とろけるような表情で語る、大石部長の登場です！

おおいしひでお ●所属部署
大石 秀夫 さん 営業部(建築・土木)

- 生年月日 昭和34年12月15日(満53歳)
- 出身 八女市室岡
- 資格 1級土木施工管理技士・1級造園施工管理技士ほか
- 尊敬する人 夢を形にした人たち ●座右の銘 『継続は力なり』
- 趣味・特技 ゴルフ…2回のヘルニア手術で遠のいていましたが、またできるようになりました。お酒…今、日本酒にはまっています。
- 休日？ 地域の子供たちに教えているサッカーの試合。サッカーのない休みは温泉でのんびりと。
- 自己PRどうぞ！ 八女市より委嘱を受け、青少年指導員・青少年健全育成実行委員を務めており、夜な夜な地域のためのボランティア活動に動んでいます。



ほっこりしましょ



Kidsコーナーちびっこアート
無邪気でパワーにあふれる元気をもらったよ☆ありがとう

いつも心にスポーツ魂を！可愛いお孫さんの未来は、なでしこジャパン？！
スポーツを通じて、これから未来を担う子どもたちの心と体を育ててくださいね！

八重桜とご一緒に。
現場にも花心。凛々として。



対岸から。
完成したら立派な石積み河岸です。



雨にご用心。ご安全に！

いってみよ！ JR筑後船小屋駅のほど近く。

こんな看板を見られたことは？→
筑後『江口製菓』といえば誰もが知るあの最中や、昔なつかしコーラボール。その江口製菓さんが洋菓子展開のため店舗を構えられたのが、ここ『船小屋』さん。『地域のみなさまに愛されるお菓子づくり』を実践中！和風な佇まいのため、定食屋さん間違えて入って来られる方も…というお店には、近所の女性の方々はもちろん、意外と多いのが…
スーツ姿の男性のお客様とのこと。地産地消を心掛け、お店に来て頂くことで、地域の活性化にもなれば！という地元愛あふれるお店です。試食&ドリンクコーナーがあるのもうれしいですね♪



おすすめ☆sweets☆
お店イチオシの絶品スイーツ！『ばけっと』ふくらとしたケーキにラズベリージャムをあしらひ、サクサクの薄焼きクッキーで包んだお菓子。日持ちもするので土産などにぴったり！

住所：筑後市大字津島487 駐車場あり(5台)
TEL：0800-200-2758(フリーコール)
営業時間：10:00～19:00/定休：毎週水曜日

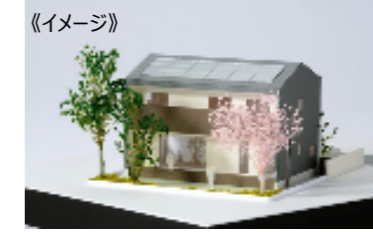
堂々予告！ 話題の『ゼロ・エネルギー住宅』

3月から分譲を開始した、羽犬塚中学校北側の分譲地9区画。おかげさまで好評につき、着々とご予約を頂いています。

1区画に『ゼロ・エネルギー住宅』を建設し、販売します！



ゼロ・エネルギー住宅とは、自然から生み出すエネルギー(太陽光・太陽熱)を、逃さず(高断熱・高気密)効率よく使うこと(省エネ機器・家電類)で、年間のエネルギー消費量が、概ねゼロとなるおすまいのこと。『電気の自給自足』といえればわかりやすいですね☆



ゼロ・エネルギー住宅。国が積極的に進めていることとして、すまいのコンセプトです。私たち大藪組も初の試み。夏ごろの見学会のご案内を、乞うご期待！！

太陽光パネルをつけました！



当社の6F建て自社ビル山ノ井ハイツに太陽光パネルをつけました。遮るものなく、日当たり良好。光よ、集まれ！

わたしたち SAVE the ENERGY

省エネ企業を目指します。

九州電力の企業向け・家庭向け電気料の値上げが決まりました。契約容量の見直しやこまめな節電、電気利用は毎日のこと。公私において気がかりなことですね。弊社の社屋も築20年を超えて、照明もエアコンも老朽化。この時代、せつかつなら省エネ性が高い器具・機器へ入替え、かつ、『エネルギー使用量が見える化作戦』を実施中。

リアルタイムで電気の使用をチェック！無駄使いは一目瞭然、ひとりひとりの意識と心がけが一番の省エネ対策ですね！

省エネエアコンに替えました！



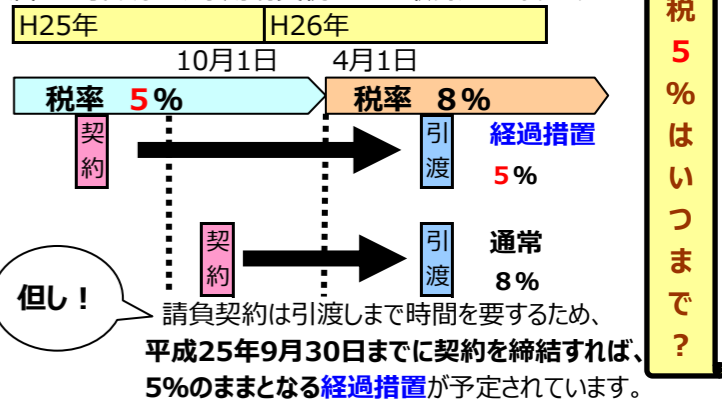
LED照明に替えました！

市住宅小規模改修事業補助金制度

筑後市では、市内の施工業者に依頼して現在住んでいる住宅を改修しようとする人を対象に、その費用の一部を補助します。
◆対象：筑後市内に住む人が所有する専用住宅等
◆工事内容：工事費が10～300万円(税別)のもので、申込みの年度末までに終わる改修工事
※工事着工前に補助申請が必要です。
◆工事例：屋根・天井・外壁・内壁・床などの改修、防音・断熱・間取り変えなど、水廻りの改修、耐震改修など
※増築など、床面積が増える工事、外構工事、年度をまたぐ工事などは対象とはなりません。
◆補助金額：改修工事に要した費用のうち、100分の10に相当する額(上限10万円で1,000円未満切り捨て)
◆受付：4/1より筑後市商工観光課商工観光係にて受付開始

消費税増税と工事請負契約 Q&A

平成26年4月より、消費税が8%となる予定です。工事請負代金は、引渡し時点の税率が適用されるため、平成26年4月以降のお引渡しは、原則消費税8%の取り扱いとなります。



消費税5%はいったまで？